

18 市立青葉病院周辺地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	なし	
面積 (促進地区)	242.0ha	
旅客施設 (3000 人/日 以上) 乗降客数	京成千葉寺駅	4,872 人 (平成 30 年度)
バス便数	市立青葉病院	154 (本/日)・片道 (上下線平均) (2017 年)
	千葉寺駅	35 (本/日)・片道 (上下線平均) (2017 年)
	千葉寺駅入口	30 (本/日)・片道 (上下線平均) (2017 年)
生活関連施設数	9 施設	
生活関連経路延長	約 1,790m	
500m 圏人口	4,448 人	※市立青葉病院を中心に 500m 圏の範囲で算出 (2015 年国勢調査 4 次 (500m)メッシュ)
500m 圏高齢者数	1,069 人	
500m 圏高齢化率	24%	
従前の基本構想から の主な変更点	変更なし	

※バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

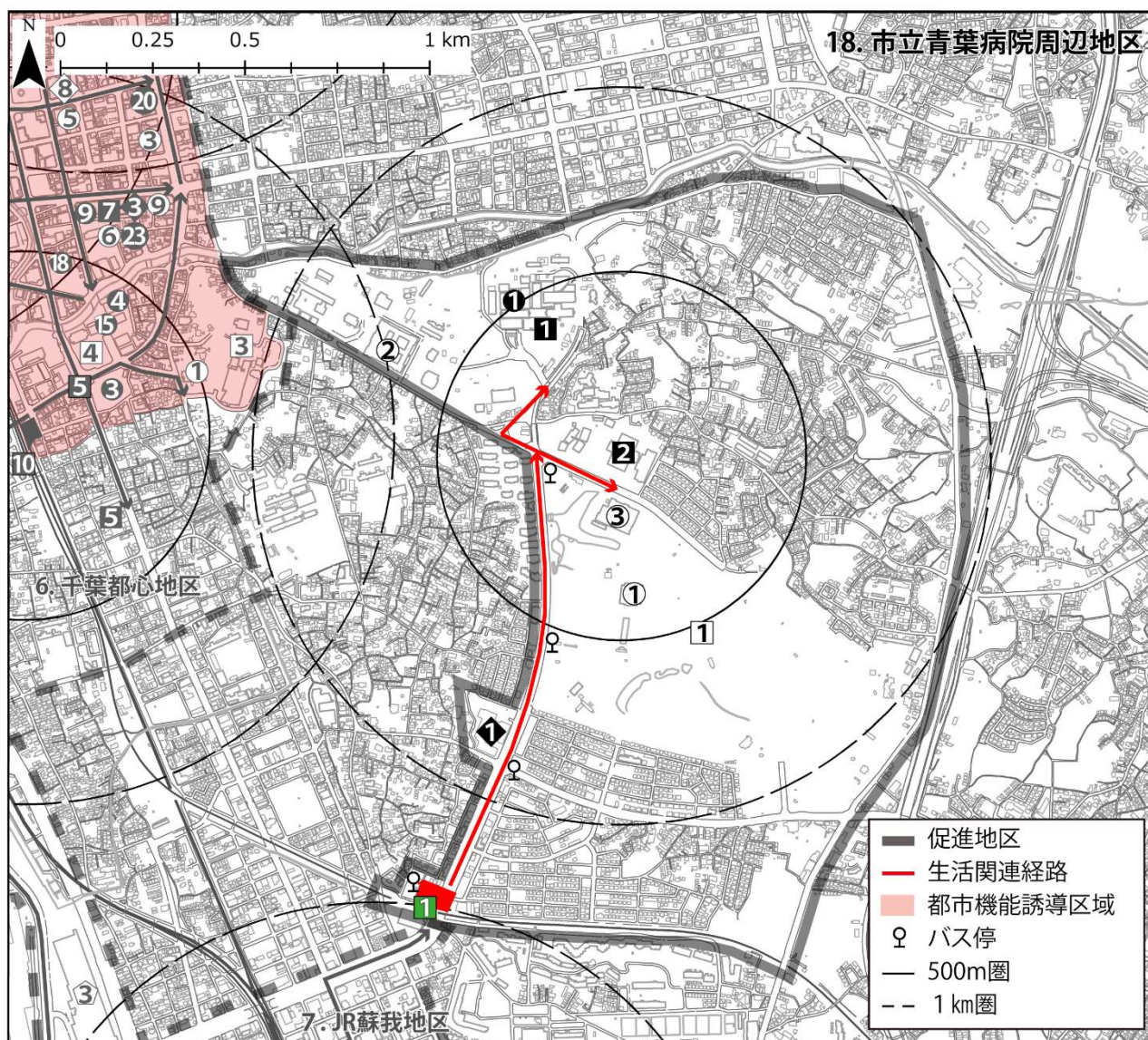
市立青葉病院周辺地区は、複数の病院や障害者施設が集積しており、促進地区の中で唯一都市機能誘導区域を含まない地域です。青葉病院周辺の人口は促進地区のうちでも比較的少なく、高齢化率は平均的です。青葉病院周辺の主な土地利用は住宅・公共公益用地・都市公園等です。バス便数は促進地区の中では比較的少ないですが、千葉駅方面へのアクセスが充実しています。

青葉病院から最寄りの京成千葉寺駅までは1.5km程度あり、主にバスによるアクセスが見込まれることから、バス利用環境の向上が求められます。

京成千葉寺駅には多機能トイレが無く、一般トイレ出入口には階段があることから、改善が求められています。駅や道路、主な公共施設は基本的にバリアフリー化され、連続して視覚障害者誘導用ブロックが敷設されていますが、整備時期が古い区間では、一部舗装のがたつきや視覚障害者誘導用ブロックの色や規格が不揃いの箇所が見受けられます。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 駅前広場の利便性を向上します。
- バス停留所の利用環境、及びバス停留所と生活関連施設間の移動の連続性の向上を図ります。



種別	番号	施設名称
旅客施設	1	京成千葉寺駅
公共施設	1	千葉大学病院内簡易郵便局 ※1
福祉施設	1	障害者福祉センター
保健施設 ・病院	1	国立大学法人千葉大学医学部付属病院 ※1
	2	青葉病院
文化・教養 ・教育施設	1	芸術文化ホール
	2	千葉大学大学院 医学研究院・医学部
	3	中央博物館
都市公園	1	青葉の森公園

※は同一建物内



京成千葉寺駅



青葉病院